

2. 2019 年度 ホスピス緩和ケア週間

安部奈津子 永谷貴美

(日本ホスピス緩和ケア協会 事務局)

日本ホスピス緩和ケア協会では、「世界ホスピス緩和ケアデー (World Hospice and Palliative Care Day)」を最終日とした1週間 (2019年度は10月6日～12日) を「ホスピス緩和ケア週間」とし、ポスターの掲示及びセミナーや見学会の実施などを通して、緩和ケアの啓発普及活動に取り組んでいる。

第14回目となった2019年度は、主催の3団体 (日本ホスピス緩和ケア協会、日本緩和医療学会、日本死の臨床研究会) に加え、新たに緩和ケア関連14団体の後援を得て開催した。ポスター・チラシ (図1) を作成し、主催団体の会員をはじめ、がん診療連携拠点病院など全国の関係者に案内し、イベントの開催を呼び掛けたところ、160のイベント登録があった (図2)。

イベントで行われる企画の内容としては、講演会、パネル展示などを通して緩和ケアの知識を提供するもの、相談コーナー、茶話会など会話による情報提供を目的としたもの、またコンサートや

演劇などを楽しみながら緩和ケアへの理解を深めてもらうものなど、合計398の企画が寄せられた (表1)。

今年度は、一般の方を対象としたACP (人生会議) や在宅での看取りに関するセミナーが多数開催されたほか、ウィッシュツリーを置いて患者や来院者、医療従事者に願いごとを書いてもらうなど、多くの人に立ち寄ってもらえるよう工夫された企画が多くみられた。折り悪く台風と重なり、中止・延期となった企画もあったものの、市民や医療福祉関係者など7,900名あまりの参加があった (展示会の参加者は含まず)。

実施施設からは、「緩和ケアへの一般の方々の関心の高まりを感じ、イベント開催を継続してきた意味をスタッフ間で共有することができた」といった報告が寄せられた (図3)。

2020年度の世界ホスピス緩和ケアデーは、10月10日となっており、10月4日～10日をホスピス緩和ケア週間として実施を予定している。



図1 2019年度ポスター (チラシも同デザイン)

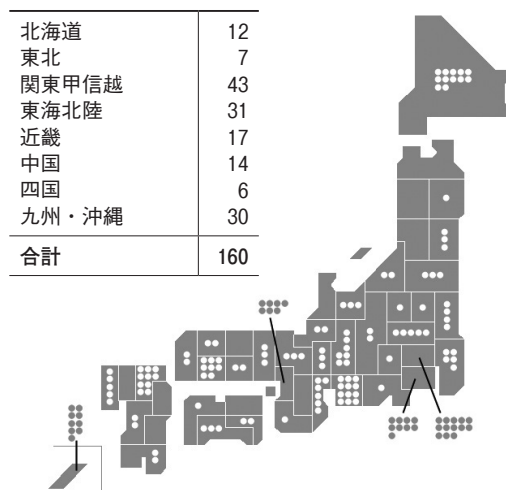


図2 各地域の企画登録状況

表 1 企画内容と参加者内訳

参加施設種別	企画内容 (1つの登録企画内で複数の企画開催有)	参加者内訳
★協会会員 103 (内 拠点病院 37) 緩和ケア病棟 89 緩和ケアチーム 7 一般病院 5 診療所 1 準会員・賛助会員 1	①一般市民向けの講演会等 ②医療従事者向けの研究会等 ③緩和ケア関連のパネル展示 ④相談コーナーの設置 ⑤チラシ・パンフレットの配布 ⑥緩和ケア病棟見学会 ⑦コンサート・演劇等 ⑧体験・試食コーナー等の設置 ⑨茶話会・カフェ ⑩DVD・動画の上映 ⑪遺族会・懇親会等 ⑫その他(作品作りなど)	65 21 80 47 48 28 34 28 15 12 9 11
★非会員 46 がん診療連携拠点病院 8 日本緩和医療学会会員 15 学会会員+拠点病院 6 学会会員+研究会会員※ 5 拠点病院+学会+研究会会員 4 不明(無記入) 8		一般市民／患者（入院・外来）／ 家族／遺族／学生（医学生・看護 学生・薬学生）／教員／医師／看 護師／看護助手／薬剤師／臨床心 理士／社会福祉士／ソーシャル ワーカー／相談員／管理栄養士／ 臨床検査技師／理学療法士／作業 療法士／救急隊員／保健師／ケア マネジャー／介護支援専門員／歯 科衛生士／介護福祉士／介護士／ 音楽療法士／メディカルアシスタ ント／事務員／チャプレン・僧侶 ／ボランティア／民生委員／保育 士／その他
合 計 149 (※研究会：日本死の臨床研究会)	合 計 398	合計 7,909 (展示会来場者は含まず)



【病棟ラウンジ講演会】
北海道：勤医協中央病院



【パネル展示とねがいの木】
千葉県：辻仲病院 柏の葉



【意思決定場面の寸劇】
神奈川県：日野原記念ピース
ハウス病院



【市民公開講座】
新潟県：新潟医療センター



【院内ロビーでの啓発活動】
富山県：南砺市民病院



【医療従事者対象のセミナー】
三重県：南勢地域緩和ケアネッ
トワーク



【ホスピタルアート体験】
大阪府：大阪府済生会中津病院



【緩和ケアチームによる演奏】
鹿児島県：霧島市立医師会
医療センター



【治療と仕事の両立支援相談】
沖縄県：沖縄協同病院

図 3 催し物の実際（一部紹介）